



### 産業建設委員会

平成29年9月25日～27日

地場産センター「かいてらす」

(山梨県甲府市東光寺)

昭和60年9月開館した山梨県地場産センター「かいてらす」は、平成27年4月には入館者数800万人を突破し、立地条件にも恵まれ健全な経営環境にもあると感じました。  
**全国都市緑化はちおうじフェア**

(東京都八王子)

このフェアは、八王子市市制100周年記念事業として、富士森公園をメイン会場に、9月16日～10月15日までの30日間開催されていました。

メイン会場は、市の中心に位置し、フェア会場の草花植栽・整備には、多くの地域住民のボランティア活動により準備できたとの説明を受け、信州フェアの準備の参考となりました。



全国都市緑化はちおうじフェアにて



土地利用規制の一部緩和について学ぶ

**須坂市市街化調整区域内の土地利用規制の一部緩和**

(須坂市)

須坂市では、昭和46年に都市計画区域内を市街化区域と市街化調整区域に区域区分を行い、都市の拡大は抑制され、農林業の振興と環境の保全が図られてきました。しかし、市街化調整区域は開発が規制され、人口が著しく減少する状況が生じ、このため都市計画法第34条第11号の区域指定による土地利用規制の一部緩和を行うこととし平成28年に5地区の一部について県知事の指定を受けました。

指定を受けても、一定の規制はあるものの、一戸建て専用住宅等の建築が可能、そして、地区同意は区長の同意書の提出で可能と説明を受け、委員会として大いに参考となりました。

### 議会基本条例推進委員会

広報部会

平成29年11月7日～8日

広報部会では、全国町村議会議長会が主催する町村議会広報コンクール入賞の常連であり、ともに非常に魅力的な議会だよりを発行している山形県川西町議会及び宮城県大和町議会を視察しました。

**山形県川西町議会**

紙面編集に関して、写真部門、文章部門それぞれに町民有識者に委嘱した広報アドバイザーが毎回の編集会議や校正作業に加わるほか、広く町民に委嘱した広報モニターが毎回感想文を寄稿するなど、編集方針の基底に常に住民参加が意識されています。また毎年町長に対し議会が「政策提言」をしており、これに対する執行の検証評価を企画記事にしていますが、こういった



表紙デザインの選定方法を学ぶ (山形県川西町)

た議会の動きそのものが紙面に反映され、住民目線から見て面白い議会だよりにつながっていることがうかがえました。



議会広報誌づくりについて意見交換 (宮城県大和町)

**宮城県大和町議会**

毎回の議案審議で注目されたやりとりや住民目線から話題性に富んだ議案を大きく取り上げた特集記事、また過去、議員から提言された政策が現在どうなっているかを追跡取材する「なじよになったあの提言は？」など企画記事が紙面充実に寄与しています。

両町とも写真扱いが効果的で、ともに表紙に子どもいい表情を題材にしていることが印象的でした。また総じて議員のみなさんの広報に対する意識が非常に高いことが、任期で人が変わっても高いレベルを維持し続け入賞につながっていると感じました。